学校番号	2004

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	生活と美術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

食器やバッグなど、生活の中にあるデザインを探し、デザインを考え制作します。刃物や工具など使用しますので、安全に留意しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】様々な工具の仕様を理解し活用する。 【思考力、判断力、表現力等】生活の中にある道具を造形的な視点で考える。 【学びに向かう力、人間性等】より良い作品を作ろうと創意工夫する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザインについての基本を理解し制作することができる。 使い手のことを考えた機能的デザインを考えることができる。	材質や道具の特性を理解し制作することができる。 機能面以外のユニークな発想を作品に表現することができる。	より良い作品を制作しようとする姿勢で取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	木彫	表札 ペーパーナイフ 箸 スプーン いずれかの一つ選択した課題を制作する。	a:画材や彫刻道具を理解し活用することができる。機能的デザインを取り入れた作品を制作することができる。 b:　機能面以外のユニークな発想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。	作品	作品	制作の様子
	版画	帽子 トートバッグ 筆箱 ポーチ 持参したもの いずれか選択しステンシルを施す。	a:ステンシル技法の特性を理解し活用することができる。下描き通りに切り抜くことができる。 b:練った構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。	作品	作品	制作の様子
後期	グラスリッツエン	ガラスのコップの表面にリューターを使って模様や絵をつける。	a:リューターとガラスの特性を理解し活用することができる。 b:コップの特性を活用した構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。	作品	作品	制作の様子
	インテリアコーディネーター	一人暮らしをする場合の家具の配置を考え図面にし、想像図を描く。 紙・粘土・金属などを用いて模型を制作する。 合評で相互評価する。	a:画材や課題の特性を理解し活用することができる。 b:構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。他者の作品から生活を想像することができる。	作品	作品	制作の様子 合評の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度